

楽譜
1

♪長靴をはいたねこ 長靴をはいたねこ

ねこ（ネコ）ねこ（ネコ）ねこ ねこ ねこ ニャーオ♪

粉屋の父さんが亡くなりました。父さんは、3人の息子に財産を残しました。一番上のお兄さんには水車小屋を、2番目のお兄さんにはロバとたくさんの粉を・・・でも、3番目の弟は、ねこ一匹しかもらえませんでした。3番目の弟はがっかりしました。

「な～んだ、ねこ一匹か・・・。」

ねこは弟に言いました。

「私は、あなたのお役に立ちますよ。そのために、服と長靴を下さいな。」

弟は、ねこに、服と長靴を作ってやりました。長靴をはいたねこのできあがり！！

楽譜
1

♪長靴をはいたねこ 長靴をはいたねこ

ねこ（ネコ）ねこ（ネコ）ねこ ねこ ねこ ニャーオ♪

ねこは、まずはじめに、王様のお城へ行きました。

うさぎをたくさんつかまえて、王様にプレゼントしました。

うさぎは、王様の好物なのです。

「このうさぎは、私のご主人、カラバス様からのプレゼント。どうぞ召し上がれ！」

王様は大喜び！ お礼に、お金をどっさりともらいました。

楽譜
1

♪長靴をはいたねこ 長靴をはいたねこ

ねこ（ネコ）ねこ（ネコ）ねこ ねこ ねこ ニャーオ♪

ある日、王様とお姫様が、馬車に乗って散歩に出かけました。

それを見たねこは、弟に、はだかになって川で泳ぐように言いました。

弟は、ねこに言われるままに服を脱ぎ、川で泳いでいると、

そこへ、王様とお姫様が乗った馬車が通りかかりました。

ねこは大声で騒ぎだしました。

「大変だ！服が盗まれた。カラバス様の服がない・・・。」

王様はそれを聞くと、立派な服を家来に持ってこさせ、弟にプレゼントしました。

弟は、王様とお姫様の馬車に乗せてもらい、もう、立派な王子様です。

楽譜
2

♪馬車に乗って 馬車に乗って お姫様と一緒に散歩に行こう♪

王様、お姫様、そして弟の乗った馬車は、牧場を通りかかりました。

ねこは、先回りをして、牧場ではたらく村人たちに言いました。

「そこの村人よ。この牧場の持ち主は、カラバス様と言うんだぞ・・・。」

やがて、馬車が牧場に着きました。村人は王様に言いました。

「王様、この牧場は、カラバス様の持ち物でございます。」

楽譜
2

♪馬車に乗って 馬車に乗って お姫様と一緒に散歩に行こう♪

でも本当は、牧場は、魔法使いの物だったのです。

ねこは、魔法使いのお城へ行きました。ねこは、魔法使いに言いました。

「あなたの魔法を見せてください。大きなライオンになれるか？」

「かんたん、かんたん、なってやる～！」

魔法使いは、大きなライオンになりました。

「お見事！では、今度は小さなねずみになれるか？」

「かんたん、かんたん、なってやる～！」

魔法使いは、小さなねずみになりました。

ねこは、すかさず魔法使いの変身したねずみを食べてしまいました。

魔法使いはもういません・・・。

ねこは、王様、お姫様、そして弟が乗った馬車が、お城に着くのを待ちます。

馬車の中で、弟とお姫様は楽しそう。王様もごきげんです。

長靴をはいたねこが待つお城に向かって、馬車は走っていきます・・・。

楽譜
2

♪馬車に乗って 馬車に乗って お姫様と一緒に城へ行こう

馬車に乗って 馬車に乗って お姫様と一緒に城へ行こう

ねこはねこでも ただのねこじゃない 長靴をはいたねこのお話♪

楽譜
1

♪長靴をはいたねこ 長靴をはいたねこ

ねこ（ネコ）ねこ（ネコ）ねこ ねこ ねこ ニャーオ♪